



あなたにピッタリの学習方法がわかる！

英語学習 診断テスト (exiim)



英語学習診断テストのエキシム(exiim)は、私たち誰もが生まれ持った学習傾向を知ること、強みを最大限に活かしつつ、弱みを課題として克服する学習方法を提案するプログラムです。思考のクセを知ることが、英語上達に必要な不可欠と言えます。これからは、アナタに合った学び方で英語学習に取り組み、英語トラウマから脱却しましょう。



ANALYST TYPE

タカのように
俯瞰的に物事をみて分析



アナリストタイプの特徴

- ・ 整理整頓が得意
- ・ 学生時代、ノートをキレイにとることに満足していた
- ・ 説明するときに数字をよく使う
- ・ よく口に出す言葉は「見通し」「話の展開」「議論の焦点がぼけている」など
- ・ グラフやチャートが大好きで、スライドやスライドや資料に多用する

強み と 課題

- ・ リーディングが得意で長文読解においても点数が取れる
- ・ 単語帳や赤シートを使って暗記するのが得意
- ・ マインドマップやカラーペンを使い情報をまとめることで記憶に定着する
- ・ 動画は英語字幕があるとよく理解ができるが、音声のみだと聞き取れないことがある
- ・ 文書を作成する際、スペルが気になる
- ・ 発音がどうしても日本語発音になってしまう

オススメの学習方法

難しいビジネス洋書でもスラスラと読めてしまう一方で、リスニングや発音については点数の伸びに苦労するアナリストタイプ。そんなアナタは計画を立ててコツコツと実践していくのが得意なので、まずは、1ヶ月の学習計画を作りましょう。

リスニングは聞いているだけでは上達することはありません。必ず音声を聞きながら、根気よくテキスト読みを続けることで、聞こえていなかった音が聞こえてくるようになります。発音については、どうしても読みにくい音をあえて克服するより、読みやすい音に取り組むことで上達のスピードが進みます。類語を上手に取り入れながら英語学習を続けましょう。

①リーディング

仕事や興味のある分野について書かれた翻訳本の原著、ウェブマガジン、ニュース記事などを読む。気に入った箇所をノートに手書きで、繰り返し書き写す。

②ライティング

語彙を増やす場合は①で読んだ内容から、覚えたい単語を書き写し、これらの単語を使って読んだ内容を要約する。週10単語、30単語と自分で目標を決めて達成率を数値化し、毎週書き留めることでモチベーションのキープにつながる。

③スピーキング&リスニング

テキストを含む音声教材を用意し、音声を聞きながらテキストを音読する。
また、②で作成した要約を声に出して読み、つかかると単語や読めない単語は同義語・類義語で置き換える。

④発音

発音記号、フォニックス、リンキングなど発音に関連するルールを論理的に理解し、繰り返し練習することで克服できる。

BALANCER TYPE

サルのように
機敏で視野が広い

バランサータイプの特徴

- ・デザインにひとめぼれしがち
- ・説明するとき手がよく動く
- ・イメージ図があると理解が早い
- ・話題がよくあちこちに飛ぶ
- ・何かを思い浮かべるとき、まず映像が浮かんでくる
- ・よく口に出す言葉は「見たんだけど」「のように見える」など

強み と 課題

- ・絵を見てストーリーを想像したり、説明するのが得意
- ・身振り手振りを交えつつ、コミュニケーションは取れてしまう
- ・小説を読むのは好きだが、長文読解では点数に結びつかないことがある
- ・動画は図解されているスライドを見ながらだと理解できるが、音声のみだとついていけないことがある
- ・英語を話している途中で、何が言いたいのか自分でもわからなくなることがある



オススメの学習方法

言葉にするよりも、絵を描く方がずっと得意なバランサータイプのあなたは、マインドマップで語彙力がグンとアップします。

アウトプットをする時は、単語をただ繋げ合わせるだけでなく、関連した単語をセットに描きながら文章を作成することで、学びが英会話力に繋がります。リスニングは、動画を見ながら自分でも声を出して音を追う練習を重ねると、TOEICも点数が上がるでしょう。

①リーディング

感情移入できる主人公による小説、好きな作者のブログ記事などを読む。

②ライティング

語彙を増やす場合は①で読んだ内容から、覚えたい単語を書き写し、これらの単語を使って読んだ内容を要約する。

この時、情景を具体的に想像しながらすると記憶に残りやすい。週10単語、30単語と目標を決めて達成率を数値化し、結果をグラフ化することでモチベーションのキープにつながる。

③スピーキング&リスニング

ストーリー仕立てのテキスト付き音声教材を使って、音声を聞きながら音読をする。また、②で作成した要約を声に出し、ジェスチャーを交えながら読み上げる。

④発音

フォニックスを使い、音の強弱、トーンを身振り手振りで表現しながら繰り返し練習することで克服できる。

PRODUCER TYPE

イルカのように
聡く好奇心旺盛



プロデューサータイプの特徴

- ・何かを思い出すとき誰かの具体的なセリフがずっと出てくる
- ・学生時代、先生の目を見て話を聞いていた
- ・一方、ノートはあまりとらなかった
- ・論理的。理論的に筋道を立てて話そうとするが、スライドや資料を作成するのはニガテ
- ・よく口に出す言葉は「矛盾している」「話の筋が通ってない」など

強み と 課題

- ・英語プレゼンが得意で、説明が上手と言われる
- ・リスニングバイリンガルで、日常会話だけでなく、ニュースや英語会議も音声だけで大まかな内容を理解できる
- ・一方で、スペルを覚えられなかったり、長文をニガテと感じる
- ・発音が良く、コツを習得するとアナウンサーのように話することができる

オススメの学習方法

聞いたことは大体理解できる一方で長文がニガテなプロデューサータイプのアナタは、音声教材のテキストを繰り返し音読することで、基礎的な英会話力を身につけることができます。

ある程度まで会話が続けられるようになったら、ニガテな長文に取り組むことで語彙力が飛躍します。まずは、平易な言葉で書かれた記事を読み、慣れてきたら好きなスピーチがベースになったビジネス洋書を繰り返し読みましょう。

①リーディング

3,000単語くらいまでで書かれたブログ記事や、ニュース記事など短い文章を多読する。文章を読む際は、段落ブロックごとに読み進めることでモチベーションをキープできる。

②ライティング

語彙を増やす場合は③で聞いた音声から、覚えたい単語を書き出し、これらの単語を使って聞いた内容を要約する。

③スピーキング&リスニング

テキスト付き音声教材をテキストの文字を追いながら聞く。また、テキストの音読を繰り返す。テキスト音読の後に②で作成した要約文を音読し、読みにくい単語は同義語・類義語で置き換える。英会話のロールプレイングも内容が興味の対象に沿っていれば有効。

④発音

発音教材や、動画を見ながら繰り返し練習する。英語スピーチを使って練習するのも良い。

COMPOSER TYPE

ウサギのように
敏感で穏やか

コンポーザータイプの特徴

- ・会話の中でワイワイと、グワーンなどといった擬音語を使うことが多い
- ・考えを整理するとき、つい独り言が口から漏れている
- ・雑音に弱く、雑音があると集中力が乱れる
- ・「ああ」「え～」といった感嘆符を使いがち
- ・よく口に出す言葉は「聞いたんだけど」「ちょっと聞いて」など

強み と 課題

- ・リスニングが得意で勉強しなくてもそこそこ点数が取れる
- ・一方で、長文読解はどれだけ対策をしても点数が伸び悩む
- ・SF、医療系を除く海外ドラマや映画なども、字幕なしである程度理解できる
- ・単語を覚えられない
- ・発音が良く、留学経験がないのに海外在住経験を聞かれることがある



オススメの学習方法

話すことが好きで、留学していないのに「発音は帰国子女並み」と言われるあなたは、まず、得意な会話力を集中的に磨きましょう。

TOEICなどのテストは、リスニングでは点数が取れるのに他はなかなか伸びないのが課題。読解力や文法は多読することが点数アップのコツなので、好きな短編集など音読しやすい教材を見つけて、とにかく音読することで必ず点数にも反映されます。

①リーディング

短編集や好きな著者によるブログ記事など短い文章を多読する。文章を読むのが難しく感じる場合は、強弱をつけながらストーリーを音読することでモチベーションをキープできる。

②ライティング

語彙を増やす場合は③で聞いた音声から、覚えたい単語を書き出し、これらの単語を使って聞いた内容を要約する。

③スピーキング&リスニング

テキスト付き音声教材の音声を聞きながらシャドーイングする。また、テキストの音読を繰り返す。テキスト音読の後に②で作成した要約文を音読し、必要に応じて書き直す。会話のスピードは、好きな海外ドラマや洋画のスクリプトを使いテンポ良く話す練習をする。

④発音

好きな音声や動画を繰り返し聞きながら真似する。洋楽で発音の練習をするのも良い。

CARPENTER TYPE

ウマのように
賢く人の心の機微に敏感

カーペンタータイプの特徴

- ・勉強するならじっと考えるより、落書きしながら考えたい
- ・人に指示されても納得しないと動かない
- ・何かを思い出すときその時の感情が浮かびやすい
- ・体験したことはよく覚えているけれど、見たたり聞いたりは忘れがち
- ・よく口に出す言葉は「という感じ」「じっくりくる」など

強み と 課題

- ・気に入ったものが見つかるまで、あれこれと違う教材やメソッドに手を出してしまう
- ・独学より、レッスンを受ける方が好き
- ・自分に合ったやり方は自分で見つけれられる
- ・人に説明することで最大の学びを得られる



オススメの学習方法

じっくり取り組むことも嫌いじゃないのに、お気に入りが見つかるまでは落ち着かないアナタ。そんなカーペンタータイプの特徴は「教えることが上手」。友人や後輩に教えることで、どんどん上達するもこのタイプです。

実際に教える相手がいない場合は、誰かに説明する想定で、読んだ本や好きな動画の内容をアウトプットするのがオススメです。発音だけでなく、学習もテンポ良くメリハリを大事にすると続けやすくなります。

①リーディング

興味がある分野のブログ記事や雑誌など、シンプルな読み物をたくさん読む。じっと座って取り組むよりも、スマホやタブレットPCにダウンロードして気分を変えながら、時には音読しながら読み進めることでモチベーションをキープできる。

②ライティング

触って感じられるものを使うことで記憶に定着しやすくなる。ペンを使って何度も繰り返し紙に書くのも良い。

③スピーキング&リスニング

英語劇やスピーチの練習を繰り返すことで、会話力が鍛えられる。セリフを読み上げる際は、感情を込めて読むことで「らしく」話す力が鍛えられる。

④発音

フォニックス音声など、長いストーリー音声よりは短い音声教材を使って、テンポ良く練習していくことが上達のコツ。

QUICK STARTER TYPE

イヌのように瞬発力が高い。
「習うより慣れろ！」

クイックスタータータイプの特徴

- ・歩きながら考えることで集中できる
- ・ゲームをやるときは説明書を読まずに始めてしまうタイプ
- ・とにかくまず体験したいので行動範囲が広く、友人も多い
- ・服は着心地重視で素材や着た時の感覚にこだわる
- ・よく口に出す言葉は「胸に刺さる」「腑に落ちる」など

強み と 課題

- ・思い立ったが吉日、すぐ行動に移せるので悩むことが少ない
- ・一方で、教材や本を手当たり次第に買ってしまう傾向がある
- ・独学やグループレッスンでは、学習に身が入りにくく、個人レッスンが好き
- ・身振り手振りや単語の繋ぎ合わせでも「通じてしまう」が、文法や発音はなおざりになりがち
- ・TOEICなどのテストでは、結果が出にくい



オススメの学習方法

とにかく思い立ったらすぐさま行動しないと気がすまないアナタは、じっくり同じことにコツコツ取り組むのがニガテ。どれだけ学習してもTOEICなどの点数は伸び悩みます。こまめにスキマ時間を見つけて、短時間でもパッと英語脳に切り替えワークに集中することが大切。

気に入った英語記事や文章はスマホに保存していつでも読めるようにしたり、アプリを使うのもいいでしょう。ただし、必ずインプットだけでなくアウトプットも合わせて取り組むこと。ワークの時間を決めて、その間はメッセージをブロックするなど集中できるように工夫するのもオススメです。

①リーディング

興味がある分野のブログ記事や雑誌など、シンプルな読み物をたくさん読む。読み飛ばしながら読んでも良い。

②ライティング

アプリを使ってゲーム感覚で単語にたくさん触れていくのが語彙力アップのコツ。ただ暗記するのではなく、単語を見て思い浮かんだ感情や言葉を英語で口に出すことで、記憶に定着する。

③スピーキング&リスニング

英語で学ぶ料理レッスンやツアーに参加することで、集中しやすくなる。独学で英会話を学ぶ際は、目で見聞きしたものを人に説明するかのように実況中継する。

②で触れた単語をベースに、短くてもどんどんアウトプットしていく。

④発音

好きなドラマや英語の主人公のセリフ、好きな著名人のスピーチを繰り返し真似するのが発音上達の秘訣。